



社会福祉法人つるかわ学園
つるかわ学園を支える会
☎195-0051
東京都町田市真光寺町
186番地
TEL (042) 735-2220
FAX (042) 736-6374
HP:tsurukawa-gakuen.com



平成三十年一月一日。年が新しくなりました。明けましておめでとういいます。

天皇陛下が来年、平成三十一年四月三十日にご退位され、五月一日に皇太子さまのご即位と同時に改元がされるとのことです。これで、平成は三十一年で幕を閉じることになりました。新たな元号は今年中に決まると言われています。

天皇陛下は昭和八年十二月二十三日生まれで八十四歳。私、昭和八年七月三十一日、五か月お兄さんで同級生です。

天皇陛下は、昭和の激動の中を生き、「平成」に引き継ぎ、二十一年。私自身、同じ時代背景を生きてきたのだという実感が常にあります。

天皇陛下の老いも私の老いも同一線上にあるような気がするのです。つるかわ学園に来たのが、昭和五十七年五月一日。そして、三十五年ここで仕事をしています。

二十三歳で、今で言う、知的障害児の支援スタッフ、昭和三十九年東京オリンピックの年、千葉県柏市にある「桐友学園」の施設長に二十九歳の時に、なりました。苫小牧東高校の同級生三人が中心になり施設づくりをしたのです。その後、静岡県御殿場市にある社会福祉法人武蔵野会が経営する富士学園、東京苑に施設長として転任、昭和五十七年つるかわ学園に来ました。

知事さんも初代安井誠一郎、東電太郎、美濃部亮吉、鈴木俊一、青島幸男、石原慎太郎、猪瀬直樹、舛添要一、そして今の小池知事歴代の面々、仕事上の書類にその名を目にして来ました。今、考えると、思えば遠くに来たものだという実感です。

日本の福祉の発祥は「これにて美談のはじまり」でしたが、私は、それに反発し、だから福祉の貧困はそれを根拠に遅々として進まないのだと、若い頃、盛んに言ったものでした。それでたくさんバッシングを受けました。福祉の根幹にあるものは老いて枯葉のように散る。勲章と賞状をもらい「あなたは偉かった」と言われるのです。たくさん先輩たちが現場を去

り、そして死んでいきました。数年経つと誰もその人の名前を出して話題にすることはないので。

最近、読んだ本ですが嵐山光三郎の「枯れてたまるか」があり、老いることは日々楽しい、冒険だということ、言葉として「真面目すぎるあなたへ」ということで、「もうちょっと「雑」に生きてみないか」と言うのが、お気に入りでした。

私は、つるかわ学園にいて、最終章に近い立場にあり、つくづく思うことがあります。

チームミッションというのでしょが、絆の結びつきが、だんだん強くなってきたように思えるのです。

雰囲気が見ると、それぞれが、仕事を覚えてきていると感じているのです。だから、スタンディングオベーションではないが「成果を讃える風景」を贈りたいという気持ちです。

年頭に当たって叱咤激励なんてとんでもないのです。ひとりひとりが、やがて、心に背負うものが、そして福祉の何たるかに気付き、辿り着く成長を見るにつけ、嬉しさがこみあげるのです。私の子を、つるかわ学園に委ねて良かったと思える人たちが少しでも多くなっていけば、役者冥利です。

安藤英雄と言う人が、「終わらない挑戦」という本を書いています。彼は満身創痍で生きています。が、「リン」は青いうちがいい。人間成熟すると碌な事やらない」と言っていますが、私はそんなことないと思います。その、年ごとに、それぞれが愉快だと思つのです。

「地球の終わりが明日だとしても、私は林檎の種をまくでしょう」私の本の冒頭、ゲオルギウの詩を載せています。北朝鮮の不気味な動きに世界中が不信心と不安にかられています。

一度、感情的になってポタンを押せば、相手だけでなく、ブーメランのように自分の所に戻ってきます。そればかりか、地球という星が破滅してしまいます。子供の喧嘩はもうやめて、何をどうすればいいのかわからない、北朝鮮が核武装に金をかけないで、その分、食糧や生活文化のため金を使い、共に平和を求め、地球温暖化の解決を図るようチームを編成したらどうかかしらと思つます。

トランプも似た者同士、アメリカが一番なんていつまでも言っていないで、目を覚まさないといけないと思つのです。一年の計、元旦にありとはよく言つたものです。

今年も、「他人に優しくあれ、逞しくあれ、新しくあれ」を、新年のご挨拶とします。

どんな苦難に立ち向かおうと冒険と勇氣、そして情熱を持って行動してください。あることが、足踏みし、現状維持とするならば、これはまさしく後退なのです。若者たちは「過ちを改むるに憚ることなかれ」、「委任された権限を闊歩すること」これは、私が常々言う言葉。私の周りにはモサタたちがいて、育っています。

私たちの仕事は「信頼」される立場で展開している数々があります。ひとの言葉をよく聞いて、たくさん議論ができる年にしたいです。



つるかわ学園

施設長

丸山 文弘

皆様、新年明けましておめでとございます。

この会報を通じて、何回も書かせてもらいましたが、つるかわ学園では高齢化にともなう重度化が進んできています。これにより、常時車イスでの移動が必要な方が増え、ごだわりが年々強くなっている方も増えてきています。

一人ひとり個別の課題を抱えており、各個人が必要とするサービス・支援を提供しなければいけません。支援する側も大変になってきていますが、つるかわ学園を利用される方たちが安心して、また安全に楽しく生活を送れるように、職員みんな(支援・医務・調理・事務)が一丸となって対応していきたいと考えています。

本年もご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

つるかわ学園相談支援センター
ごころ 管理者 芹澤 政人

新年あけましておめでとございます。

現在つるかわ学園相談支援センターごころでは、法人内中心の利用者の方、百五十四名の登録を頂き、計画相談支援を行っております。相談支援事業の運営につきましても、各関係機関、地域の皆様からご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

サービス等利用計画とは、生活全般についてアセスメントをし、本人の願いを中心に、生活や支援の全体像を示したものになります。「楽しみたいこと」「チャレンジしてみたいこと」などを利用者の方と一緒に考えることであり、「サービスをつなぐ支援」になります。なお、各事業所で作成している個別支援計画とは、必要なアセスメントをさらに深め、本人の願いをかなえる為に、より具体的な支援内容を盛り込んだものになります。ですので「サービスを深める支援」になります。何よりもサービス等利用計画につきましてもサードパーティのチームアプローチを展開していくことが

重要であると考えています。

一人ひとりの利用者の願いが実現できるように、法人内、各関係機関との連携を密に行い、地域で必要とされる相談支援事業所になれるように邁進していきたいと思っております。

本年もよろしくお願いいたします。

町田通勤寮 寮長
三階 広明

早いもので、今年もまたこの挨拶の時期になりました。毎日が目の前の課題に追われている中で、本当に『光陰矢の如し』の日々を実感していますが、その中でどれくらい自分の『責任』が果たせているのか?と自問自答の毎日です。

さて、寮長に着任してから三年半が経ちましたが、「民間移譲」から始まった大きな変化の中で『経営』が大きな課題としてあります。『福祉の理念』と『経営』の狭間で自分の中にも未消化の課題が多々あります。『健全な経営』がなければ「事業」の継続はありえません。『事業』の継続はありえません。『事業』の継続が「福祉」の実現につながるということは理解しているつもりですが、訓練施設としての「自立を目指す利用者」さ

んへの支援とは何か?と日々悩んでいます。

町田市障がい者就労・生活支援センターりんく兼つるかわ学園
職業準備支援センター
管理者 滝島 弘之

あけましておめでとございます。本年もよろしくお願いいたします。

障害者雇用においては平成三十年代より法定雇用率が改定され、民間企業においては現行の2.0%から2.2%に変更されます。さらに三年後までに2.3%に変更するとされています。

このような状況の中、私たち就労支援機関としては就労支援の質の向上(支援の標準化や平準化等)にしっかりと取り組んでいく必要性があると考えております。また、インタークやアセスメントにおいては、時代の変化や働き方の変化に対応した新たな手法を開発し、一人ひとりが主体的に意思決定しキャリアを形成していくという視点に立って取り組んでいかなければならないと強く感じております。

障害者雇用においては変化のある一年になりますが、これからも地域の関係機関と密接に連

携して、障害のある人の生涯に渡るキャリア支援の視点に立って、本人主体の質の高い就労支援を提供していきたいと考えております。
どうぞよろしくお願いいたします。

地域生活援助センター
フクシア 管理者 市川 嘉

新年あけましておめでとございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

平成二十九年から引き続き大変厳しい雇用状況が続いています。毎年新規グループホームを立ち上げている「フクシア」としては世話人及び生活支援員の確保に奔走しており、現在も続けています。求人誌に目を向けても募集は山のように掲載され、特に福祉分野の募集が目につきます。何とかしてこの状況を打破し、利用者処遇に支障をきたさないようにと考えています。

事業としては「サテライト型住居」を新規に立ち上げている状況です。「サテライト型住居」とは、本体住居との密接な連携を前提とした、一人生活に近い形態の住居です。原則として入居してから三年の間に一般住宅

等へ移行出来るよう計画的な支援を行う事業です。

今後の「フクシア」は通勤察からのグループホーム入居希望者を受け付け、規模を大きくするばかりではなく、力のある利用者者を一人生活に移行する努力も求められています。



「フクシア ゆいまーる 宿泊旅行」

ゆいまーるの意味は「結い」を表す沖縄の言葉で、「結びつき」や「助け合い」を意味します。寮を越えて繋がりや絆を大切にしている会です。

今年度の行き先は『信州』。参加人数三十七名にて一泊二日で行ってきました。

一日目はほうとう作り体験・チーズ作り体験。麵棒を使い伸ばしたほうとうはそのまま昼食に頂きます。チーズ作りも牛乳にクエン酸を入れて凝固。あっという間にフレッシュチーズの出来上がりです。
夕食は宴会。ピンゴ大会やカ

ラオケ、皆で楽しみます。そして旅行の一番の楽しみは『女子会』『男子会』それぞれに分かれて大量のお菓子を食べながらたわいのない話で盛り上がりました。



二日目は松本城・善光寺・りんご狩り・松代象山地下壕見学。歴史を学び今を知る：善光寺では女性住職の「お数珠頂戴」に偶然にも立ち会うことができました。りんご狩りではお土産付きたったことも多い人で七個のりんごを持って帰りました。

道中のバスの中では通称「バスレク」を実施。クイズやじゃんけん大会を行ったりカラオケをしたり終日、笑顔のたえない旅行になりました。

祝 全国大会 優勝

現在通勤察を利用している『根津友和』さんの報告です。

彼は、男子バスケットボール東京代表に選出され活動しています。十月二十八日から三十日まで開催された「第十七回全国障害者スポーツ大会」(ご存知の方もおられると思いますが、国体の開催地で国体閉会後に開催されています。今年は愛媛県で開催されました。)に出場しました。



東京代表チームは関東大会で宿敵「神奈川県代表」を破り全国大会に出場したのですが、関東大会でもチームの「ポイントゲッター」として活躍した彼は、全国大会でもチームの「得点王」として活躍し、東京代表は優勝を果たしました。日頃から、仕事とバスケットボールの両立に努力している彼の活躍はうれしいものです。今後の活躍を期待しています。



「つるかわ学園ふれあいまつり」と名称を変更してから、今回で四回目のふれあいまつりを迎えることができました。

今年度は、開催時間や規模を縮小、新たな試みとして地域の方々に場所を提供し、フリーマーケットを募集しました。

当日は天気にも恵まれ、開場前からたくさんの来場者の方が列をつくって待ってくださりました。今年度も地域の福祉事業所等に場所の提供をし、模擬店やそれぞれの事業所で作られた製品等の販売をして頂きました。各団体の方に販売して頂いた豆腐製品や焼き鳥、甘酒、素晴らしい縫製品等はどれも来場者の方に喜ばれていました。フリーマーケットでは四団体の方に参加して頂きました。新たな試みでしたが、一緒にふれあいまつりを盛り上げて頂き、地域の皆様にも好評を頂きました。ステーションではつるかわ学園の利用者や職員が、日頃の成果を発表する等、生き生きとした表情が見られました。規模は縮小しましたが、地域の方々の「ふれあい」を様々なところで見る事ができました。

この行事は前年度より引き続き、つるかわ学園の利用者・職員・ご家族等と有意義に交流を図り、地域とより結び合えるような企画運営を目指しています。

つるかわ学園の理念、「地域と共に暮らし地域と共に生き」ことを愛の拠点にします」をいつまでも大切に第五回・六回と、このふれあいまつりがより充実した内容となるように取り組んでいきたいと思えます。

最後に、当日お手伝い頂いたボランティアの方、地域や各関係機関の方など、多くの方の誠意とご理解、ご協力頂きましたことに心より感謝申し上げます。また、これからもよろしくお願い申し上げます。

職員インタビュー Vol.2

つるかわ学園 ホームページ

日常のようす、行事のお知らせ等がご覧になれます

アドレスはこちら!!
HP : tsurukawa-gakuen.com



氏名 大熊 祐二

Q1 出身地と出身校

出身地：東京都
出身校：関西大学出身

Q2 入職日

平成二十三年四月一日

Q3 所属

フリーマーケットのつたの空

Q4 入職のきっかけ

前職は外食産業の管理職をしていました。今までは違う世界で仕事がしたいと考え、ハンディキャップを持っている方々の力になれる仕事がしたいとの思いから、幼少の頃バザーに遊びに来ていた、つるかわ学園の門を叩きました。

Q5 働いての感想

毎日に変化の連続で新鮮。利用者さんとの距離感が縮まったと感じることが出来たときの喜びがモチベーションとなっています。ちゃんと休みが取れる職場なので、家族サービスも出来るのでありがたいです。

Q6 今後の抱負

直属の上司からノウハウを盗み、利用者さんに信頼してもらえる職員になる事。また、後輩職員の模範となるようになること。

Q7 リフレッシュ法

子供達との散歩。洗濯。

Q8 趣味

広島東洋カープ。

Q9 私の一押し

広島東洋カープ（ファン歴三十二年）。

氏名：다니シヤ ナディカニ

Q1 出身地と出身校

出身地：町田市
出身校：和光大学

Q2 入職日

平成二十四年四月一日

Q3 所属

つるかわ学園 支援スタッフ

Q4 入職のきっかけ

つるかわ学園に見学に来た事

Q5 働いての感想

責任感、楽しさ、大変さ、嬉しさと言った様々な場面を感じる。

Q6 今後の抱負

職場では、利用者が何でも相談できる職員になる事。その他に、仏教の心理学を学ぶ。

Q7 リフレッシュ法

友達と遊ぶ、旅行

Q8 趣味

読書、お菓子作り

Q9 私の一押し

水泳

つるかわ学園を支える会のご案内

「支える会」について

国家的財政困難と世情不安定の中にあって、施設も苦しい状況に置かれています。私達は私達なりに苦しきの中にあっても福祉を支える者として努力を惜しまず頑張っています。今一步の力の支えをこうした形で求めるのは本当に心苦しいのですが、市民の皆様のお小々な善意はやがて大きな力を生む礎となる事をお約束します。

どうか「つるかわ学園」を支える会にご入会し力を添えてくださいますようお願い申し上げます。

会費

「つるかわ学園を支える会」の会費は、一口年額三千元ですが、ひとり何口か入っていただくことを歓迎、お願いしております。

会員の方々には、毎年三回発行するつるかわ学園の機関誌「つるかわ」をお送りし、学園の様子を続けてご報告するとともに、この人達の幸せを願う者同志としての親交を深めます。

入会方法

入会して下さる方は、振込用紙を学園にご請求下さい。

振替口座番号

〇〇一〇一七一九四〇二九

加入者

社会福祉法人 つるかわ学園